



めいぎょうかん・まつやまひがしこうしりょうかん

## 明教館・松山東高校史料館

多士済々の卒業生はキラ星のごとく

明教館は文政11年(1828)、11代藩主松平定通が二番町に藩士の文武稽古所として建てた藩校の講堂。好古は七つで入ったと記され、近代教育の重要な遺構である。昭和12年(1937)5月に松山東高校敷地内の現在地に移築された。隣接する東高校史料館には、子規・漱石・秋山兄弟・虚子・碧梧桐・加藤拓川・水野広徳らの書や手紙などを展示。多士済々の卒業生・ゆかりの人物たちの作品が見られる。同校は坊っちゃん文学賞を受賞した『がんばっていきまっしょい』の舞台にもなった。愛媛県指定有形文化財

DATA ①松山市持田町2-2-12 ②089-943-0187  
③電停勝山町から徒歩7分 ※見学は事前予約が必要



地図 P12F4

## 松山中学校・勝山学校跡

名作『坊っちゃん』の舞台

真之や子規が入学した松山中学。夏目漱石が明治28年英語を教えた学校で、名作『坊っちゃん』の舞台になった所といわれる。ここに藩校明教館があった。碑には漱石が松山を去るに際して作った句「わかるゝや一鳥啼て雲に入る」が記されている。

DATA ①松山市一番町4丁目 ②電停市役所前から徒歩2分



DATA ①松山市一番町4丁目6-1 ②089-931-4146 ③電停市役所前から徒歩5分 ※旅立ち像は校外から見る事ができる。

**子規や真之の母校**  
番町小学校には、若き日に句作のため箱根を旅し、わらじの紐を結ぶ子規旅立ち像がある。また、全国で最初の子規派の地方結社である「松風会」(しょうふうかい)は当初、松山高等小学校教員が会員だったこともあり、跡地である番町小学校校門付近に松風会ゆかりの松山高等小学校跡碑が立てられた。

## 番町小学校(子規旅立ちの像)

地図 P13D4



## 円光寺

名僧・明月がいた寺

銀天街にある寺。書に勝れた明月(めいげつ)は7代目住職で、明治29年、明月上人の百回忌にあたり、子規が句会を催した。「風呂吹を喰ひに浮世へ百年目 子規」

DATA ①松山市湊町4-5-5 ②089-931-4277 ③松山市駅から徒歩5分 Pなし

地図 P13D5

## 子規誕生地跡

子規が生まれたところ

慶応3年(1867)、子規は正岡常尚の次男として花園町のこの地に生まれる。通称のぼる。翌年、湊町新町に引っ越した。母・八重は、子規の赤ん坊の時のことを、丸い丸い顔で鼻が低い低い顔と話していたという。花園町通りのリニューアルに伴い俳句ポストを設置。

DATA ①松山市花園町 ②松山市駅から徒歩5分



地図 P13C5

## 子規堂(正宗寺)

勉強部屋から少年子規をしのぶ

正宗寺境内に復元されている子規の生い立ちの家の一部。当時を彷彿とさせる勉強部屋には、遺墨、遺品が展示されている。小説の中で、中学3年の少年が書齋を持っているとは、とって真之が驚いた。境内には子規の埋髪塔や内藤鳴雪の鬘塔、虚子の筆塚、ほととぎす発行6,000号記念の句碑、坊っちゃん列車の客車などがある。愛媛県指定史跡

DATA ①松山市末広町16-3 ②089-945-0400 ③松山市駅から徒歩5分 ④9時~17時(入館は16時40分まで) ⑤無休 P20台

地図 P13C5



**子規旧邸跡**  
小説では、中ノ川は川幅が2mあり、水が飲めるほどに美しく、子規の正岡屋敷は南側の生垣をこの流れに映してたと記されている。現在、中ノ川通りの中央の緑地帯には、子規が2歳〜17歳で上京するまで過ごした住居跡碑があり、そには子規の歌碑も立つ。

DATA ①松山市中ノ川 ②松山市駅から徒歩5分

地図 P13D5

**お洒落に生まれ変わったストリート**  
藩政時代、城東の山麓には東郭が置かれ、藩の重臣が住んでいた。歩行町に下級武士が住んでいた。ロープウェイ街は歩行者優先の蛇行型道路で電線は地中化され、歩道沿いにレトロなお洒落な店が軒を連ねる。店は同じデザイン看板で統一。平成19年12月国土交通省の手づくり郷土賞を受賞した。P7参照)また、毎年11月3日に、大街道3丁目まちづくり委員会の主催により開催される城山門前まつりでは、ロープウェイ街を車両通行止めにして、県内の産直特産物の販売のほか様々なイベントが行われている。

## ロープウェイ街

地図 P12E3-4



はなぞのまちどおり

## 花園町通り

「歩いて暮らせるまち松山」の新たなシンボルロード

堀之内と松山市駅を結び、市内で最も広い道路の幅を持つ花園町通りが無電柱化や道路空間の再配分により、平成29年9月23日にリニューアルした。

地図 P13C5

## 秋山兄弟生誕地

質実な暮らしぶりを知ろう

秋山家は江戸時代から現在地の歩行町に家を構えていた。秋山兄弟の生家は4部屋と土間、台所の質素な家だったという。復元された生家には、関係資料を展示し、兄弟の銅像もある。隣には常盤同郷会の武道場があり、好古の誕生月である1月(誕生日=1月7日)には稽古始や餅つき大会、真之の誕生月である3月(誕生日=3月20日)には高校生スピーチや琴演奏会などを開催しています。

DATA ①松山市歩行町2-3-6 ②089-943-2747 ③電停大街道から徒歩5分 ④10~17時 ⑤月曜(祝日の場合は翌日) Pなし

地図 P12E4



坊っちゃん列車ミュージアム(入場無料) 松山市駅から東側に徒歩3分



煙をはき、汽笛を鳴らし、タイムスリップしたかのよう

## 明治時代の気分で見学できる 坊っちゃん列車

小説『坊っちゃん』に登場した明治の風情がたつぷりの「マッチ箱の様な汽車」の坊っちゃん列車は、明治から昭和の半ばまで松山平野を走っていた。この坊っちゃん列車を伊予鉄道が復元運行している。

## おおい池跡(松山市青少年センター)

真之が泳いだ松山藩の水練用プール。海軍兵学校から帰った真之が兵隊と喧嘩した所である。今は池はなく、案内板があるのみ。

地図 P12F4

## 愛媛大学附属中学校講堂(旧制松山高等学校講堂)

大正11年建築。ヨーロッパの会堂建築をとり入れており、玄関ポーチはふくらみを持つ円柱8本が、内部には2階の回廊を支える左右各10本の円柱が印象的。国登録有形文化財。登壇は事前予約が必要。

地図 P12G4

## 松山地方気象台

昭和初期の近代洋風建築。正面入り口部だけ3階建てで塔屋がある。入り口上にはバルコニーや壁面の装飾などがあり、品の良い外観を造り出している。国登録有形文化財。

地図 P12F3

## 末広学校(正宗寺) 末広学校(正宗寺) 末広学校(正宗寺)

末広学校は子規が最初に入った小学校。ここに入った時、まだまげを結んでいたため、「まげ升さん」といわれた。またこの地には正宗家累代の墓があったが、昭和2年に正宗寺に移転された。

地図 P13D5

## 子規母堂令妹住居跡

中ノ川の緑地帯には子規の母八重と妹・律が明治21年〜25年まで暮らした家の跡碑もある。ここでは4畳と6畳の二間しかない小さな家で、帰省中の子規を訪ねた折には八重が松山鮎(すず)しもてなした。

地図 P13D5

## 街角のお宝

ここも見逃さない